

ハンケイ

5^m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン



vol.

4

FEATURE

造形作家

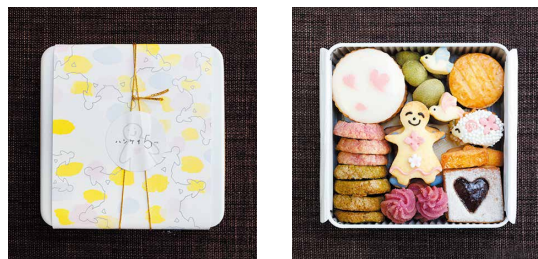
岡本 彩 さん

映画監督

谷 進一 さん

COVER ART OF HANKEI 5m

今号の表紙アート



ハンケイ5m オリジナルクッキー缶

今号の表紙で使用したのは、「ハンケイ5m オリジナルクッキー缶」です。奈良に工房を構える陶芸作家・岡本彩さん（P2）のお店「銀雪の里」と、本誌のコラボレーションにより、誕生しました。缶の中には、人を中心に、鳥やひつじのアイシングクッキーなど、いろいろな形のクッキーが詰まっています。「私たちの身近な半径5mの世界には多様な人たちが暮らしている」。そんな『ハンケイ5m』のコンセプトを表現しています。ハート型のジャムやカラフルな生地のフレーバーは季節のフルーツによるもの。シーズンによって少しずつ雰囲気が変わるのも魅力です。パッケージの帯掛けは、デザイナー水野さやかさんが手がけました。人と人が仲良く並んでいる様子を「銀雪の里」のロゴモチーフ「雪の結晶」に見立て、デザインされています。

クッキーのデコレーションやラッピングなど、クッキー缶ができるまでにはたくさんの工程があります。ハンケイ5m ショップでは、障がいがあってもその工程に参加できるような就労支援の場を準備中です。フリーマガジンから飛び出し、実店舗がスタートしたハンケイ5m ショップ。ダイバーシティな社会を目指し、ひとつずつチャレンジしていきたいと思います。

「ハンケイ5m オリジナルクッキー缶」は、ハンケイ5m ショップにて限定販売予定！
▷ハンケイ5m ショップ情報は、右ページ 参照。

ハンケイ 5^m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

vol.4

CONTENTS

表2…………… ハンケイ 5m ショップ
イベント開催情報

FEATURE 1

02…………… 岡本 彩さん

イッチン技法の陶芸作品と
アイシングクッキーを手がける

FEATURE 2

06…………… 谷 進一さん

手話映画を撮り続ける

10…………… 俊朗の映画話

薬剤師 DJ の音楽論

11…………… ホホホのすすめ

僕の大好きなボッチャのこと

12…………… 駅の昇降機、ご存知ですか？

映画『ヒゲの校長』を見に行こう
ハンケイ5m オフィシャルサポーター

13…………… ハンケイ 5m vol.4 発行にあたり

RECOMMENDED CINEMA



8/1-15

※個展開催期間中は土日の営業日が通常と異なります。
OPEN:8/7(日)、8/14/(日) CLOSE:8/6(土)、8/13(土)

大井将義 初個展「いつも想う夢」

奈良県出身の21歳、大井将義さんによる初の作品展です。幼少期から絵画教室に通い、17歳から油絵の制作を始めた大井さん。第37回全日本こども美術大賞展 特選など、数々の賞を受賞されています。色彩豊かな油絵が、店内を彩ります。



8/24 生いちごサンドクッキー&
抹茶たて体験ワークショップ

「銀雪の里」の生いちごサンドクッキーと抹茶たて体験を楽しむワークショップです。「銀雪の里」のクッキーといちごジャムを使った生いちごサンドクッキーの手作り体験をした後、和束町産の上質な抹茶「悠以の和」の抹茶たて体験ができます。甘酸っぱいクッキーと、ほろ苦い抹茶のハーモニーをお楽しみください。

講師:銀雪の里 岡本彩さん
参加費:2,500円(税込)
お問合せ・お申し込み:080-1475-3370 (店長:谷田)



ハンケイ5m ショップ

京都市下京区烏丸通り四条下ル
からすま京都ホテル内1F
(京都市営地下鉄「四条駅」南出口6番 徒歩1分、
阪急「烏丸駅」西出口23番 徒歩1分)
OPEN 10時~15時 土曜のみ18時まで営業
CLOSE 火、木、日/TEL.080-1475-3370

ハンケイ5m ショップ イベント開催情報

京都・四条烏丸にある、ハンケイ5mショップでは、
店内にてさまざまなイベントやワークショップを開催しています。
最新情報は各種SNSにて発信中！ ぜひフォローしてください。



ハンケイ5mショップ
Instagram
@hankei_5m_shop



ハンケイ5mショップ公式LINE
オンラインショップ・入荷情報は
こちらをチェック！



9/26 爪に優しいネイル&
抹茶たて体験ワークショップ

ネイルと抹茶たて体験を楽しむワークショップです。使用するマニキュア「シェルズコート」は、天然素材で身体に優しく、ネイルの刺激臭がしないもの。「シェルズコート」を手がける田中志津さんがその人に似合うネイルをアドバイスくださいます。

講師:Nail for all 田中志津さん
参加費:2,500円(税込)
お問合せ・お申し込み:080-1475-3370 (店長:谷田)

予告 10/2~

「Hiro Ge Tai」
作品展

吉本の芸人兼作家のたい
ぞうさんと作家の佐藤絃
子さんによるコラボユニッ
トが作品展を開催予定！

「それぞれが役割を担っていて、どれが欠けても物語は完成しない。
すべてが支え合っているということを、作品で表現したい」



FEATURE 1

イチチン技法の陶芸作品と、
アイシングクッキー。
繊細でありながら、
生命感あふれる
作品を手がける造形作家

おかもと あや
岡本彩さん

缶の中には、まだ誰も知らない物語が詰まっている。初めて出会った絵本のページをめくるように、ゆつくりとふたを開けよう。それは、小さな世界に通じる扉だ。いつの日か探していた青い鳥、どこかで出会った子羊。子どものころに思い描いた夢の世界をそっくりそのままお菓子にしたような愛らしいクッキーの数々に、思わず心が踊り始める。

このクッキーを作っている岡本彩さんは、陶芸も手がける造形作家だ。奈良市内で器とお菓子の店「銀雪の里」を構え、併設するアトリエ「銀雪窯」で作陶に励んでいる。草花や小鳥などの生き物をモチーフとしたアイシングクッキーや、繊細な紋様が特徴的な陶芸作品。ブローチのようなクッキー、クッキーのようなブローチ……。岡本さんの作品はどちらも色彩や風合いが似ていて、一瞬迷ってしまうくらいだ。個性的で可愛く、全国に多くのファンを持つのも頷ける。

母から教わった菓子作りと、
志した陶芸の道。意外な共通点が、
個性を育む。

「銀雪の里」は奈良市の中心市街地である奈良町の北側、通称「きたまち」と呼ばれる地区に店を構える。



小さいころから手先が器用だったという岡本さん。幼稚園から帰ると、テレビアニメ「アルプスの少女ハイジ」を見て、主人公のハイジのミニチュアを粘土で作って遊んでいたそう。なにかをこねて、作り出すことが好きだった彼女には、粘土以外にもう一つ好きなことがあった。

「しょっちゅう母と一緒にお菓子を作っていました。アイシングクッキーは中学生の時に知って、その楽しさにはまりました。クッキー作りと粘土遊びの両方に、自分の手で作品を生み出すという楽しさを感じていたそう。

中学、高校と地元の絵画教室に通う中で、ものづくりの奥深さに触れ、陶芸の道を志した。高校卒業後は、京都伝統工芸大学の陶芸専攻に進学。基礎の土もみから、ろくろの扱い、清水焼の技法をベースとした絵付けまで、ひたすら手を動かし、陶芸に向き合う日々を過ごす。並行して、空いた時間には母と一緒にアイシングクッキーも作り続け、周囲で評判になった。卒業後、2017年に現在の店「銀雪の里」を開業。茶碗やアクセサリーなどの作陶と、クッキーなど焼き菓子をデザインから携わって作っている。

幼いころからのめり込んだ二つのものづくり。改めて振り返ると、無関係に思える両者には共通点があり、作家としての岡本さんの個性を形作っている。岡本さんの陶芸作品は、表面に立体的な模様を描く「イチチン」と呼ばれる技法が特徴だ。土を水で溶いた泥漿を絞り出して模様を描くイチチンと、粉糖と水を混ぜたアイシングで装飾する菓子作り。「立体感を表現する」という点では、どちらも似ていますね。

多様に生きること。
そこに寄り添い、物語を紡ぐ。

クッキーでも陶芸でも、岡本さんが作品から生み出す物語は、ただ明るく楽しいだけではない。誰もが心の内に抱えている痛みも含めて、「生きる」ことの両面に寄り添う優しさが、作品に表現されている。たとえば、動物や人の表情など、細やかなアイシングが施されたクッキーも、形や大きさがどれも微妙に異なり、一つとして同じものはない。目が少し小さい羊も可愛く、ちよっと耳が大きな猫も人懐っこく見える。「そろってなくても形を整えたりせず、そのまま仕上げます。それぞれが役割を担っていて、どれが欠けても物語は完成



岡本さん作の器とアイシングクッキー。器に描かれた小鳥と、同じ小鳥のアイシングクッキーは、まるで器から飛び出してきたかのよう。

人から始まるつながりによって
世界が広がっていく。
そんなストーリーを大切にしたい。



岡本さん作のブローチ。クッキーのようで食べたくなる。



古民家を店舗にした「銀雪の里」。

しないとと思うんです。すべてが支え合っているということを、作品で表現したい。「銀雪の里」のクッキー缶の中で紡がれる物語は、多様な生命がつながり合う優しさにあふれている。

日頃から、このように作品づくりをする岡本さんが、このたび『ハンケイ5m』とのコラボレーション商品を新たに制作することになった。「この雑誌のコンセプトに、私の作品のイメージと重なる親和性を感じました」。鳥や羊、ハートや人が楽しそうに缶に詰まったオリジナルのクッキーと、同柄の茶碗と小皿。「つながり、連なる」をテーマに、岡本さんと『ハンケイ5m』の世界観が混ざり合った作品だ。

「人のまわりに鳥がいて、動物がいる。人から始まるつながりによって世界が広がっていくような、そんなストーリーを大切にしています」。思いを表現したクッキーの原材料には、なるべく自然の食材を使うよう心がけているのだそう。明るく力強いイメージの黄色はカボチャ、華やかで深みのある赤色、淡く柔らかなピンク色はフランボワーズやいちごを使う。「生まれ育った奈良のものを使いたい」という思いもあり、いちごは地元特産



「ひつじの家族」のクッキー缶。百貨店での出店も多く、店頭に並ぶと、販売後すぐに売り切れるという人気ぶり。

「全身を使う『手話の表現力』に 圧倒されて気付いた、新しい世界。 その広がりをも、映像で伝えたい」

「手話」が作り出す世界に魅せられ、映画を撮り続けている人がいる。谷進一さん、50歳。2008年に初めて短編作品を発表して以来、多数の手話映画を制作してきた。今秋に公開を予定している新作『ヒゲの校長』では、大正から昭和の初めを舞台に、大阪市立聾唖学校の校長だった高橋潔の生涯を描く。唇の動きから声を読み取る「口話」による教育が急拡大する時代に抗い、手話を守り抜いた高橋潔の生き様に迫る作品だ。

情熱を注いできた。原動力になっているのは、20代で出会った「本物の手話」が持つ表現としての強さだ。学生時代に演劇の道を志して以来、数々の舞台や映画に参加して「誰も作っていない分野」を模索してきた谷さん。手話映画は自身のオリジナルティを追求し、観客に見てもらうことで完成するコミュニケーションでもある。「聴覚に障がいがある人たちだけでなく、一般の方にも手話に興味を持ってもらい、実際に手話に触れる機会になればいいな、と思っています」。映画監督として、手話という表現が持つ力強さを画面を通して

て伝えることを、常に考え続けてきた。

「最後の席まで届いた、
『手話』に込められた感情と熱
……………」

手話との出会いは、大学卒業後、アルバイトに励みながら劇団や演劇ユニットの舞台に参加していた20代半ばの頃。知人に誘われて、聴こえない人と聴こえる人がともに演じる京都の劇団「あしたの会」の公演に参加することになった。『手話を知らなくてもいいから』と、学校の先生役を頼まれたんです。参加する前に一度、舞台を見に行つて。そこで



FEATURE 2

手話映画を撮り続ける
映画監督
谷進一さん
たにしんいち

少数者のために、
権力と対峙した高橋潔。
誰をも包み込む、その信念と愛。



映画『ヒゲの校長』より。尾中友哉さん演じる高橋清(右)と、日永貴子さんが演じる妻の醜子(左)。



映画『ヒゲの校長』
詳しくはP12へ！

大阪市立聾唖学校の
教員・福島彦次郎役の
前田浩さん。拍手に包
まれ花束を受け取る、ク
ランクアップのシーン。



看護師、役者、映画監督と多彩な顔を持つ、谷進一さん。
自らを「注射の打てる役者&監督」と紹介することも。

初めて手話演劇を見て、衝撃を受けました。

舞台の上で全身を使い、手話で表現している役者たち。そこに込められた感情や熱は、満員の客席の一番後ろに立っていた谷さんを圧倒するほどの力強さを持っていた。

「なまの手話って、こんなにすごいのか。僕はこれまで、声だけに頼ってきたんやなと気づきました」。

谷さんは客演としての参加をきっかけに、「あしたの会」に入団。稽古の合間に手話を教わり、手話サークルや手話講座に通った。手話を覚える中で、手話の映画や娯楽作品がほとんどないことに気がついた。「手話の映画があつたらいいな」。そこから、手話映画の監督としての歩みが始まった。

「生きた言葉」としての手話。
その奥深さと、禁じられた時代の真実

自身を日曜大工ならぬ「日曜映画監督」と称する谷さんは、平日の月曜から金曜は訪問看護師として働き、患者さんの自宅を訪ねて回っている。「撮影は週末の土日だけですが、看護師の仕事でも聴覚に障がいがある患者さんを10名くらい担当しています。そういう意味では、普段の仕事が手話の勉強になっている面

もありますね」。

日本語に方言があるように、手話にも方言があり、若者と高齢者など世代によっても異なる手話を使う。

「若い人はどんどん新しい手話を作って、自分たちで使い始めるんです。例えば、写真を共有するSNSのインスタグラムは、カメラのシャッターを切るポーズとアルファベットのiを表す指文字を組み合わせて表現します」。

世の中に新しいものが登場すると、それに応じて新たな手話が生み出される。「生きた言葉」として次々に新しい広がりを生み出すのも、手話の奥深さだという。テレビでも手話通訳が段々と定着し、手話が使われている光景は今や日常のものだ。でも、歴史をさかのぼれば、ほんの少し前まで、手話を使うことが禁止されていた時代があった。

「ろう者の方でも若い世代は、手話が禁止されていたという事実を知らない人も多い。僕が手話映画を撮り続けているのは、危機的な状況の中で手話を守った人たちがいた事実を、映像として残したいという意味もあります」。

口話と手話のせめぎ合い。
「少数者のために」という信念

新作「ヒゲの校長」で主人公として描いた高橋潔は、大阪市立聾唖学校の校長として、日本のろう教育に大きな影響を与えた人物だ。アメリカで考案された「口話法」(口元を読み取り発話者の言葉を理解する方法)を手話より優れたものとして位置付け、日本のろう教育から手話が廃絶されかかっていた昭和初期に、高橋潔はただ一人で異を唱え続けた。

「手話を禁止し口話だけの教育では、ろう者それぞれの個性に応じた適切な教育は不可能だ」と、口話と手話のどちらも活用する「適性教育」の実践を説いた高橋潔。当時の文部大臣や、尾張徳川家の第19代当主で貴族院議員の徳川義親が会長を務めた「聾教育振興会」をはじめとする口話推進の勢力が、大阪市立聾唖学校を例えて「大阪城はまだ落ちないのか」と揶揄するほど、粘り強く手話の重要性を訴えたという。

「少数者のことは考えず、多数者に合わせるという空気の中で『話せない人は、話せる人に合わせるべきだ。そのために口話を身につけなさい』という流れがあつたのかもしれない」。少数者のために、口話と手話のせめぎ合いの中で権力と闘った高橋潔の姿を、なんとしても描きたいと思いました」。

クラウドファンディングで製作資

金を募り、昨年9月から撮影をスタートした。「権力に負けず手話を守った実話を映画化。多様な文化が共存する社会に」という目的に共感した人たちの輪が広がり、多くの支援が集まった。

主演の高橋潔役は、ろう者の両親を持ち、耳の聞こえる子どもとして手話を母語に育ってきた尾中友哉さん(株式会社Silent Voice、NPO法人Silent Voice代表)が演じる。ろうや難聴の当事者も役者として参加し、京都にゆかりのある俳優・栗塚旭さんや、「よしもと手話ブー」に所属するお笑いコンビ「次長課長」の河本準一さんもゲスト出演している。

「撮影現場では、ろうの人、難聴の人、聴こえる人が一緒になって、場面を作り上げていきます。手話や身振りでコミュニケーションを重ねる中でお互いの距離がだんだんと縮まっていく。その雰囲気や、映像にも滲み出ていると思います。『空間の芸術』である手話の魅力を、多くの方に感じていただければ嬉しいです」。

手話という「少数者の言葉」を守った高橋潔。谷監督が銀幕に映す信念と深い愛情は、今の時代にこそ、見る人の心に響くに違いない。



福山 俊朗

神戸大学在学中に劇団そばこまちに入団、15年間に籍しフリーに。舞台・テレビ・映画に多数出演。FMラジオのDJ、歌のお兄さん、映画監督などマルチに活躍中。

今回は僕のベストな映画をご紹介します。といっても最初公開時にこの映画を見た時は全然ダメでした。好きな監督だったので期待しながら映画館で見たのですが、家族の喧嘩が延々と続き、顔のアップがやたら多く、正直最後まで見るのが苦痛でした。

でも最近なぜか気になってDVDで見返してみたら、じっとしていられなくなるほど心がザワザワ震えました。ゲイの主人公が自分に死期が迫っていることを知り、離れていた家族に会いに来るお話で、ほぼ家族の5人しか出てきません。舞台はほとんどが家の中で、そして主人公はセリフが極端に少ない。こんな地味な映画なんです(失礼)、物語やセリフ、役者の演技、音楽、明かり、カメラワーク等々、映画を作る全てが人間の本质を捉えていて、そうであることとできない人間の弱さや不器用さ、愛らしさ、ちょっとした感情の機微をこれでもかと突きつけてきました。終わった後しばらく放心

状態、そして泣きました。なぜこの映画に対する気持ちがいかに変わったのかはわかりません。でもこんな体験ができるのは、この映画が間違いなく人に影響を及ぼすことのできるすごい力を持った作品だからだと思います。

最後に今年1月に亡くなった主人公のギヤスパ・ウリエルさんのご冥福をお祈りいたします。ギヤスパさんの訃報は2回目を見た後で知ったのですが、ギヤスパさんが「もう一回見た方がいいよ」と教えてくれたような気がしています。



たかが世界の
終わり
2016年/カナダ・フランス/99分/
監督:グザヴィエ・ドラン
©Shayne Laverdiere, Sons of Manual



山下 賢二

出版社勤務や書店員などを経験し、2004年に「ガケ書房」を開業。2015年移転・改名し、本屋であり雑貨屋でありお土産屋でもある店「ホホホ座」をオープン。

『「ここで唐揚げ弁当を食べないでください」は、歌人・小原晩のエッセイ集である。リズムが大事な「短歌」というジャンルで活動する作家だからか、とにかくスイスイ読める。そして何よりひとつひとつの言葉のチョイスの小技が効いていて、笑えて、少し泣ける。

四人家族全員が久しぶりに揃って、回転寿司に行く話がある。音信不通気味の訳アリ兄まで参加した久しぶりの外食には理由があった。

余命宣告を受けたであろう痩せ細った父親が外食を提案したからだ。まだ子どもだった頃、そこで兄とお腹いっぱい食べたあと、隣のT S U T A Y Aでいつも邦画を借りて帰る日曜日が大好きだったと著者は書く。

「誰よりも高く豪快に皿を積み上げた父はもういない。今日の父はほんの少しかだけ食べて、冗談を飛ばして、あとは咳をしていた」。

いくらブランクがあったとしても、家族の関係性は食事を囲んだ瞬間に



ここで唐揚げ
弁当を食べないでください
小原晩・著

戻ることがある。ただ違うのは、それぞれ大人の事情。そのギャップがどうしてもなく埋められない場合は、実家に皆が揃っていた自分を感じ出しながら振る舞うしかない。かつての僕なら、子ども側の振る舞いでこの場面を読んでいただろう。しかし、今は弱った父親の気持ちを容易に想像できる。回転寿司という家族時間。その時間との別れ。普通に振る舞う妻、子どもの顔に戻ってくれている子どもたち。



船戸 一晴 (キャッチー船戸)

ゆう薬局の薬剤師、ラジオパーソナリティ、DJ。FMたんご:みゅ〜じゅくばふえCatchy(水曜12時〜)。FMまいづる、Radio Mix Kyoto:Premium Kyoto(月曜16時〜)。

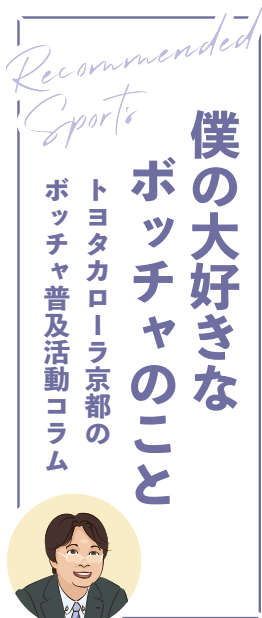
今回は新作『Harry's House』が世界的大ヒット中、男性らしさを軽やかに拡張しながら活動する「ハリ・スタイルズ」を紹介!

ワン・ダイレクションのメンバーだったハリ、「ファッションにジェンダーの境界線は必要ない」というメッセージを打ち出しています。2020年秋には男性単独として初めてアメリカ版女性誌『VOGUE』の表紙を飾り、ドレスやスカートをまとったスタイリングを披露。「服は楽しんだり、実験したり、遊んでみたりするためにある。男性のための服だとか、女性のための服みたいな障壁を取り除けば、楽しむことのできる領域が広がるよね」というコメントからは、男性らしさに捕らわれない自由と寛容性が感じられます。以前からLGBTQの支援活動を行っており、ライブ中にファンのカミングアウトをサポートしたことも最近話題になりました。

私生活では(名作)『Booksmase』を手掛けた監督で俳優のオリヴィア・ワイルドと交際中。アルバムには彼女に宛てたと思われるような曲も多く、内省的ながら私生活が充実しリラックスしている様子が作品から伝わってきます。



ハリ・スタイルズ
アルバム『Harry's House』
ソニーミュージック



田中 孝洋

トヨタカローラ京都の広報担当。障がいのあるなしに関わらず老若男女が楽しめるスポーツ、ボッチャの普及に力をいれる。

人生を思い返したとき、新しく始める節目では失敗がついてまわり、一度でうまくいったことはあまりない気がする。

スポーツの多くはゴールが固定されている。「ゴールにむかって直走する」が私のスポーツに対してのイメージだった。そのことが私をスポーツから遠ざけていたように思える。ボッチャは違った。

ボッチャを好きなところのひとつは、ジャックボールというゴール(的球)が試合中に動くところだ。作戦としての球を動かすこともある、ミスすることもある。的球が動くからこそのこともある。的球が動くからこそ最後の投球まで結果がわからない。ゴールが動いたときに新しい作戦を考え、ボールを投げ出す。

ボッチャの「ゴールが動く」という仕様が、人生のゴールは決まっておらず、「ゴールは動いても良いのだよ」と語りかけてくれているように思えた。ゴールは動くもの、その時



『ハンケイ 5m vol.3』より 高田信之選手



にまた努力すればいい、と。ボッチャを自分の人生と重ねたことで、ボッチャが私にとって普通だが特別なスポーツとなった。私とボッチャは一生の付き合いとなるだろう。良いこともそうでないこともあり、その一つひとつがあったからこそボッチャに出会えた。それは偶然が重なったことだろうが、ボッチャと出会えたことは私にとって幸運な出来事であった。私は自分の人生を喜び、それを与えてくれた過去に感謝している。

ハンケイ5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

vol.4 発行にあたり

今年は祇園祭・歩行者天国開催ですね。
ハンケイ5mショップにてスペシャル販売いたします！
インスタチェックのうえ、是非お越しください！
鎌田智広（スペシャルアドバイザー）

映画だったり、クッキーだったり……。
みんなに伝えたい！と強く思ったことを、
誰かがどこかで作品にしているのって
素晴らしい。
円城新子（編集）

多様さを認めるのって大事！
「変化」「進歩」は、
多様性から生まれると思うから。
画一性ではなく、ね。
呉玲奈（編集）

一度すれ違ったものと、再び出会う。
そのときに発見がある。
いろんなものを見聞きましょう。
山田梨世（編集）

「正しさ」という敷石の下に、
豊かな言葉が散らばっている。
龍太郎（ライター）

いざいざある人生って、
たくさんの
人の想いで作られている
そう感じた取材でした。
辻正美（カメラ）

いつの時代も仁の人はまっすぐに、
橋を架け道を作りに行く。
私たちは知らずと
その橋や道を歩いている。
森 華（デザイン）

だれかのために想い
表現された作品は
あたたかく、やさしい。
北原靖浩（デザイン）

RECOMMENDED CINEMA

京都シネマおすすめ映画



9/9(金)公開
LOVE LIFE
2022 | 日 | 123分
監督: 深田晃司
出演: 木村文乃、永山絢斗、
砂田アトム、山崎紘菜
©2022映画「LOVE LIFE」製作委員会&
COMME DES CINEMAS
https://lovelife-movie.com/

愛する夫と愛する息子、幸せな人生を手にしたはずの妙子に、ある日突然ふりかかる悲しい出来事。そこから明らかになる本当の気持ち。そして彼女が選ぶ人生とは……。『淵に立つ』『よこがお』の深田晃司監督9本目の長編映画は、ミュージシャン・矢野顕子の同名楽曲から着想され、構想に20年を経て完成した、“愛”と“人生”を真正面からとらえ本質を鋭くえぐり出す人間ドラマ。

上映情報のご確認はこちら
京都シネマ www.kyotocinema.jp
📍京都市下京区烏丸通四条下西側 COCON 烏丸3F ☎075-353-4723

京都みなみ会館おすすめ映画



7/29(金)～8/18(木)公開
**「ゴッドファーザー」
三部作一挙上映**
1972 | 米 | 175分 |
監督: フランシス・フォード・
 Coppola
©1974 by Paramount Pictures
Corporation and The Coppola
Company. All Rights Reserved.

ニューヨークの裏社会を牛耳るイタリア系マフィアのコレオーネ・ファミリーを描いた「ゴッドファーザー」シリーズ三部作(PART1～3)を週替わりで一挙上映！ フランシス・フォード・ Coppola監督による映画史に残る傑作を是非スクリーンでお楽しみください！

上映情報のご確認はこちら
京都みなみ会館 <https://kyoto-minamikaikan.jp/>
📍京都市南区西九条川原町110 ☎075-661-3993

ハンケイ5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

2022年7月15日発行

発行 株式会社アドナース
京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10
075-754-6174
株式会社union.a
京都市左京区北白川西平井町22-2
075-724-0410

企画・制作 株式会社union.a

Staff 円城新子
呉玲奈
中山みゆき
山田梨世
鈴木穂乃
龍太郎
辻正美
北原靖浩
もりはなぐみ

スペシャルアドバイザー 鎌田智広

掲載データは、2022年7月現在のものです。あらかじめご了承ください。本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転用を禁じます。Copyright©2022 ADNURSE Corp.・union.a Corp.All rights reserved.

駅の昇降機、 ご存知ですか？

京都市営地下鉄の全31駅の中で、
唯一「四条駅」にのみ設置されている昇降機。
市営地下鉄と阪急電車を結ぶ連絡通路には
16段の階段があり、上り下りが困難な方の
移動をサポートしています。

操作を担う駅員・水上裕貴さんの視点から、
昇降機をめぐるさまざまな
お客さまとのエピソードを
ご紹介します。

episode 02 ベビーカーの親子

京都の街をつなぐ京都
市営地下鉄は、毎日、多
くの人たちに利用されて
います。子育て中のお母さ
んやお父さんにとって、乗
り換えの移動もひと仕事
です。

そんな時に活躍するの
は、やはり昇降機。駅員の
水上さんは「赤ちゃんを
乗せたベビーカーと一緒
に、お母さんやお父さんは
もちろん、お兄ちゃんやお
姉ちゃんも一緒に乗ってい

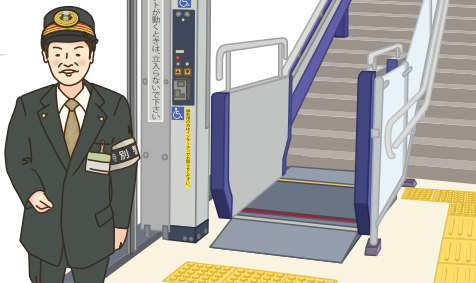


ただくともあります」といいます。普段なかなか目にすることがない昇降機に乗る体験は、短くても特別な時間。ゆつくりと動く昇降機の中から、嬉しそうに手を振る子どもたちの笑顔を目にする
と、「市営地下鉄で働く一員として、改めて嬉しくなります」と語ります。
赤ちゃんを連れただけのお出かけの負担を、少しでも軽くしたい。昇降機があればこそ安心が、京都の子育てを支えています。



地下鉄四条駅にある昇降機はFujitakaが
設置・メンテナンスを行なっています！

全国各地の公共施設からご家庭まで、さまざまな階段昇降機をサポート。バリアフリーな社会の実現に貢献します。
京都市下京区東塩小路町606 三旺京都駅前ビル7F 【Fujitakaお問合せ受付窓口】TEL.0120-533771（受付時間：月曜～金曜10時～17時 ※祝日を除く）



P9にて、監督・谷進一さんインタビュー掲載中！ 映画『ヒゲの校長』を見に行こう

手話の普及に努めた教育者、高橋潔の生涯を描いた手話映画『ヒゲの校長』。2022年秋、クラウドファンディングの支援者向け先行上映会後、順次一般向けに公開予定です。

STORY

大正末期、大阪市立聾唖学校の校長となった高橋潔。その当時、ろうの子ども達への教育は口話法（口元を読み取り理解する方法）が席卷し、手話は禁止されていた。高橋はそんな世の流れに対し、異を唱える。手話を守るため、ろう教員、聴者の教員と手を取りあい、口話推進派との軋轢に立ち向かうのであった。真の教育を実践した高橋の人生が伝える、共存とは――。

最新情報は、
映画『ヒゲの校長』
公式Twitterをチェック！



